

BELSYSTEM24[®]

2021年2月期 第1四半期 決算短信補足説明資料 (2020年7月8日)

イノベーションとコミュニケーションで社会の豊かさを支える

株式会社ベルシステム24ホールディングス

新型コロナの影響を吸収し、売上収益および営業利益を確保。

連結業績

売上収益	327億円	前年同期比	+ 6.0%
営業利益	31億円	前年同期比	+ 4.5%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	19億円	前年同期比	+ 5.7%



スポット業務等の増加による売上収益の確保。



退職率の低下等による利益の確保。

スポット業務の伸長により、売上収益、各利益ともに堅調に推移。
昨年度の医薬事業再編の反動等も利益増に貢献。

(百万円)

	2020年2月期 1Q	2021年2月期 1Q	対前年	同左	通期見通し	進捗率
			同期増減額	増減率		
売上収益	30,840	32,678	+ 1,838	+6.0%	132,000	24.8%
CRM事業	30,310	32,384	+ 2,074	+6.8%	—	—
継続業務	28,443	29,809	+ 1,366	+4.8%	—	—
スポット業務	1,867	2,575	+ 708	+37.9%	—	—
その他の事業	530	294	△236	△44.5%	—	—
営業利益	2,920	3,051	+ 131	+4.5%	11,500	26.5%
CRM事業	2,907	2,999	+ 92	+3.2%	—	—
その他の事業	13	52	+ 39	+300.0%	—	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益	1,817	1,921	+ 104	+5.7%	7,200	26.7%

2018年2月期

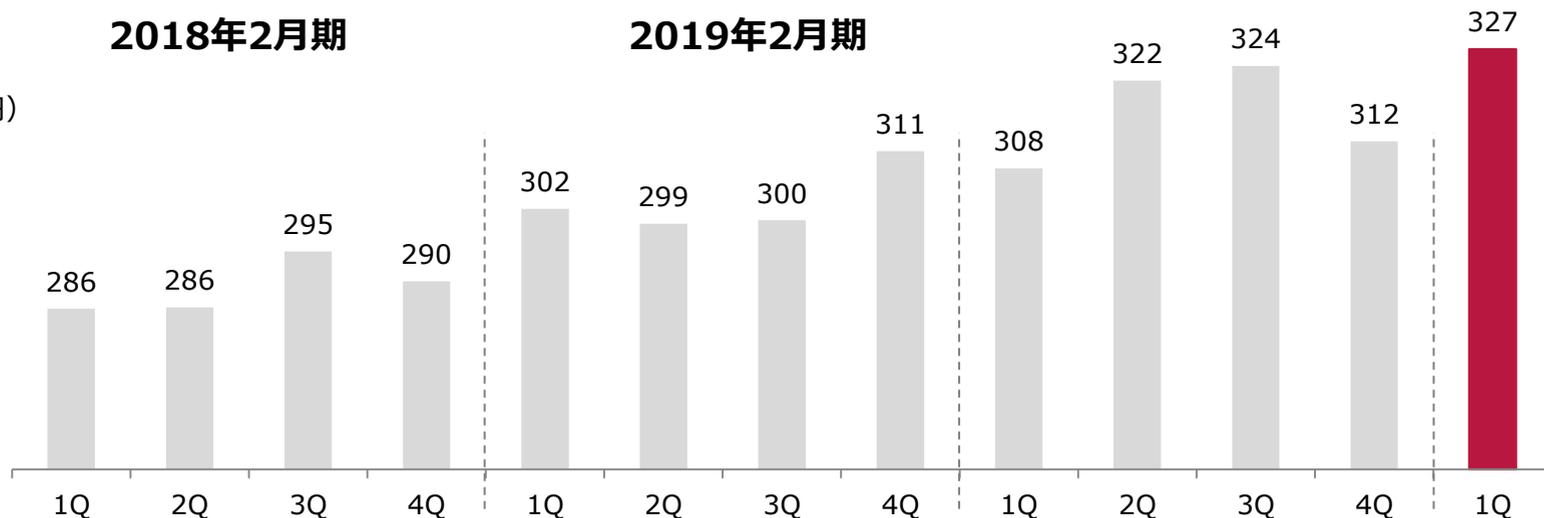
2019年2月期

2020年2月期

2021年2月期

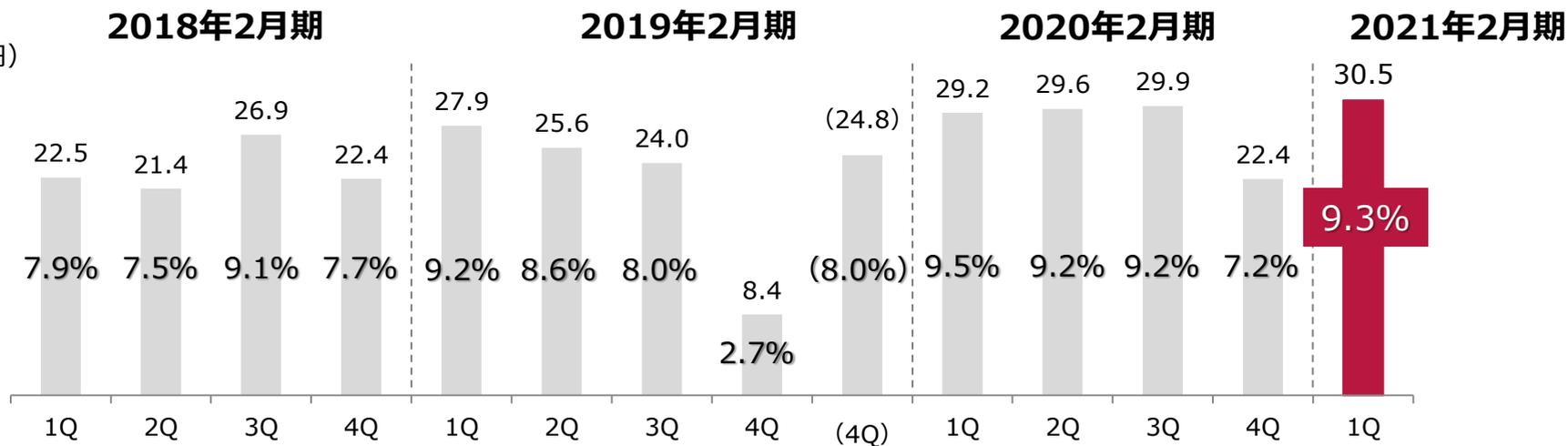
(億円)

売上収益



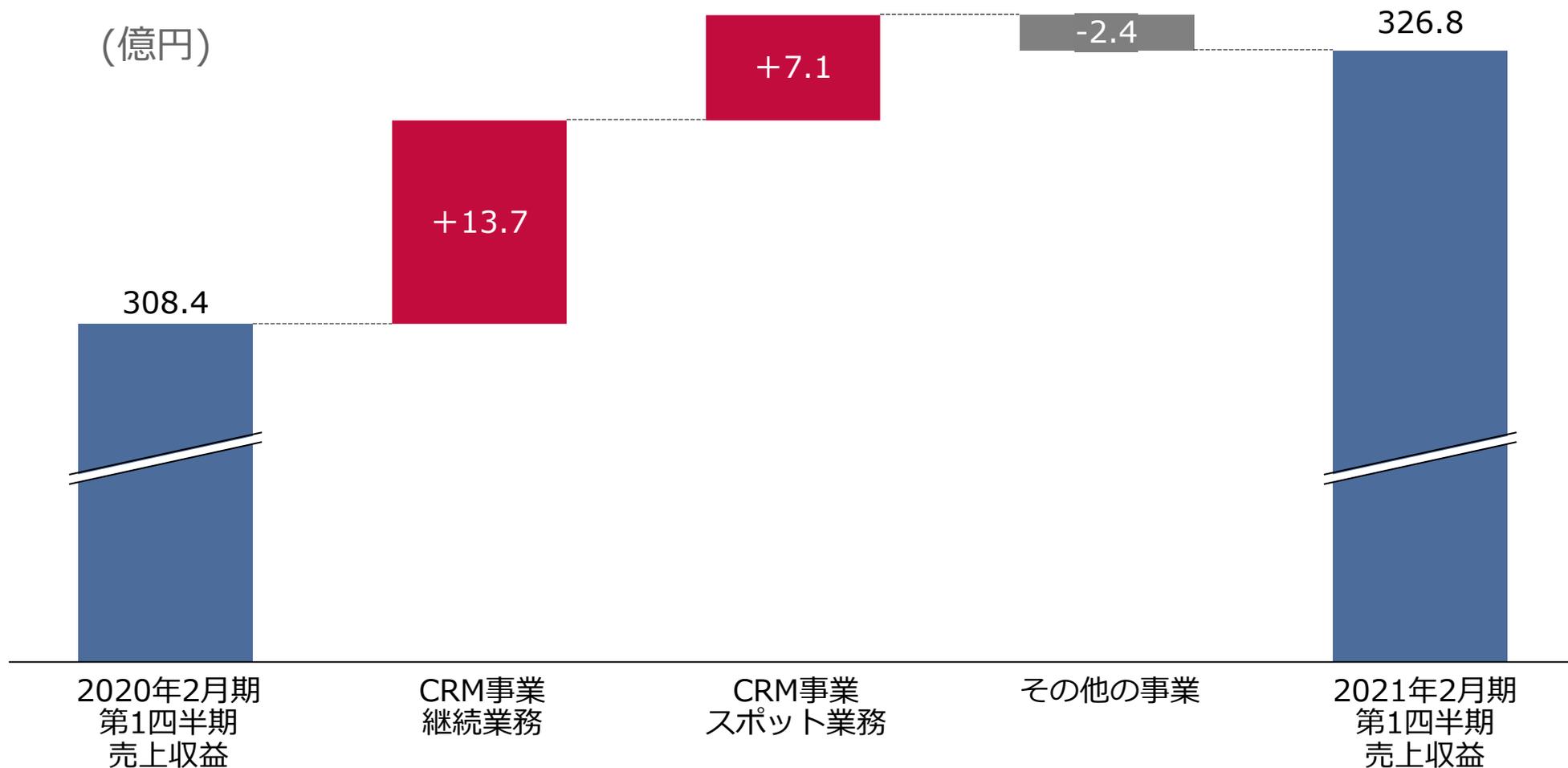
(億円)

営業利益
営業利益率



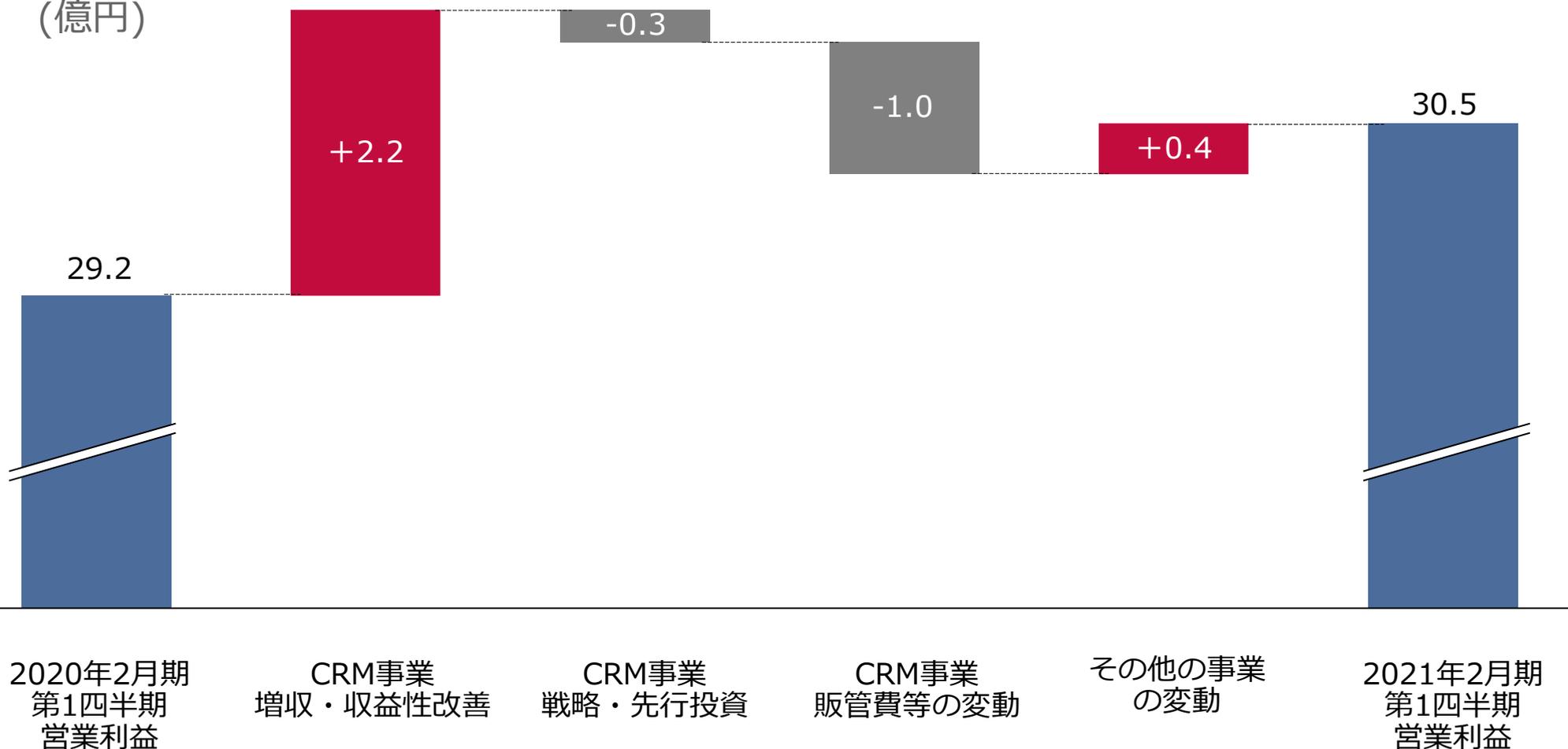
医薬関連事業
再編の影響除く

継続業務の伸びは前年同期並みも、スポット業務の大幅な伸長により、前年同期比+6.0%の伸び。



新型コロナ対策費用等も加わり経費は増加するも、増収効果により利益は伸長。

(億円)



キャッシュ・フロー

(百万円)

	2020年2月期 1Q実績 (累計)	2021年2月期 1Q実績 (累計)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,055	2,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲527	▲1,242
(フリー・キャッシュ・フロー)	(1,528)	(938)
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,312	▲355

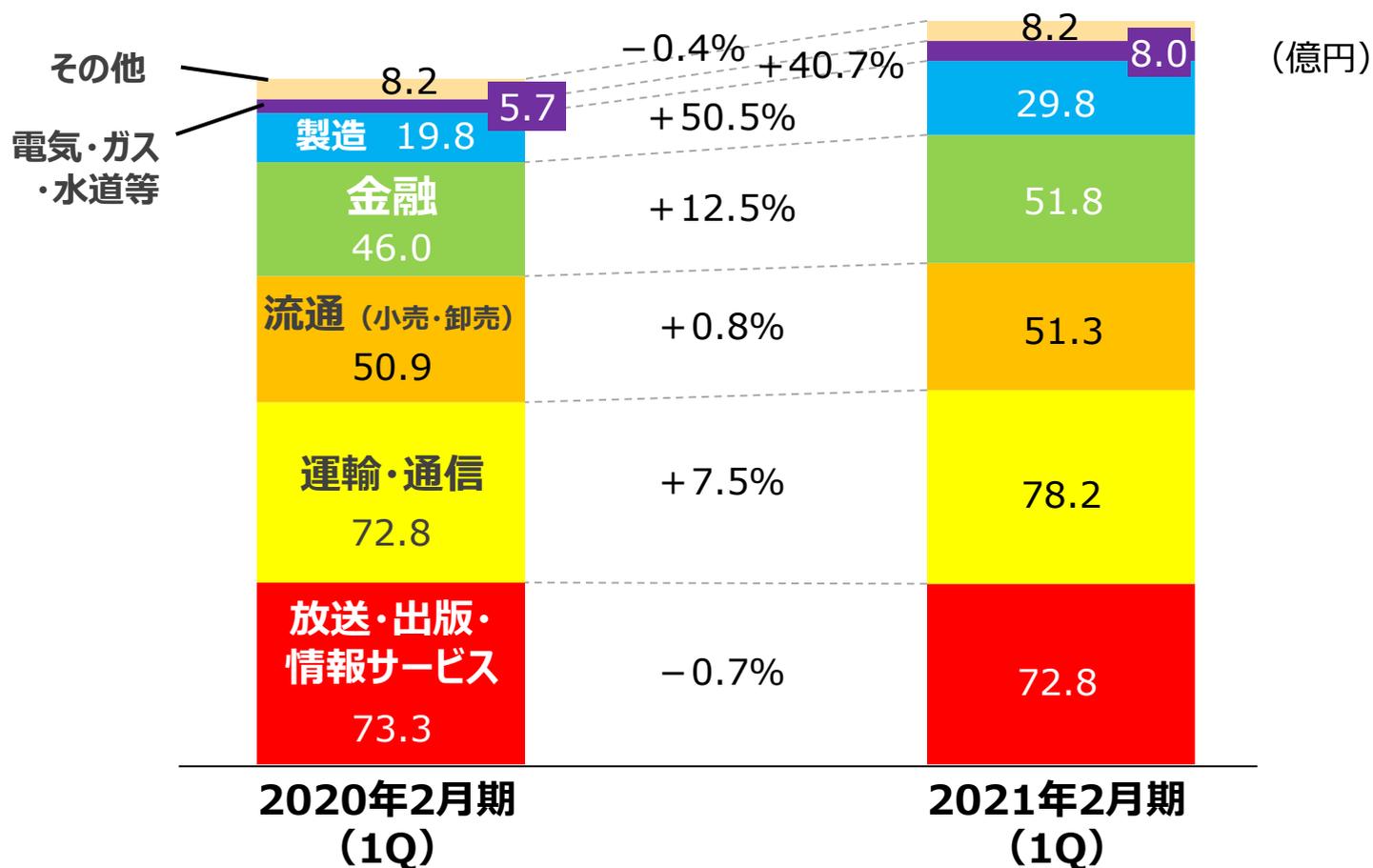
財政状態

(百万円)

	2020年2月末	2020年5月末	増減
総資産	168,508	169,549	+1,041
のれん	96,250	96,250	±0
ネット有利子負債	60,411	62,426	+2,015
親会社の所有者に帰属する持分	49,168	49,447	+279
資本比率	29.2%	29.2%	±0.0pt
NET DER	1.23倍	1.26倍	0.03増加
ROE	14.8%	—	—

製造および金融において、売上収益が大幅に伸長。

業種別売上収益※の推移
(2020年2月期 1Q vs 2021年2月期 1Q)



2021年2月期 通期業績予想

新型コロナの影響の一方で、堅調なアウトソーシング需要を背景に増収が継続。
また、営業利益は、増収効果等により、前年度比+3.6%増の115億円を計画。

2021年2月期 業績予想

(百万円)

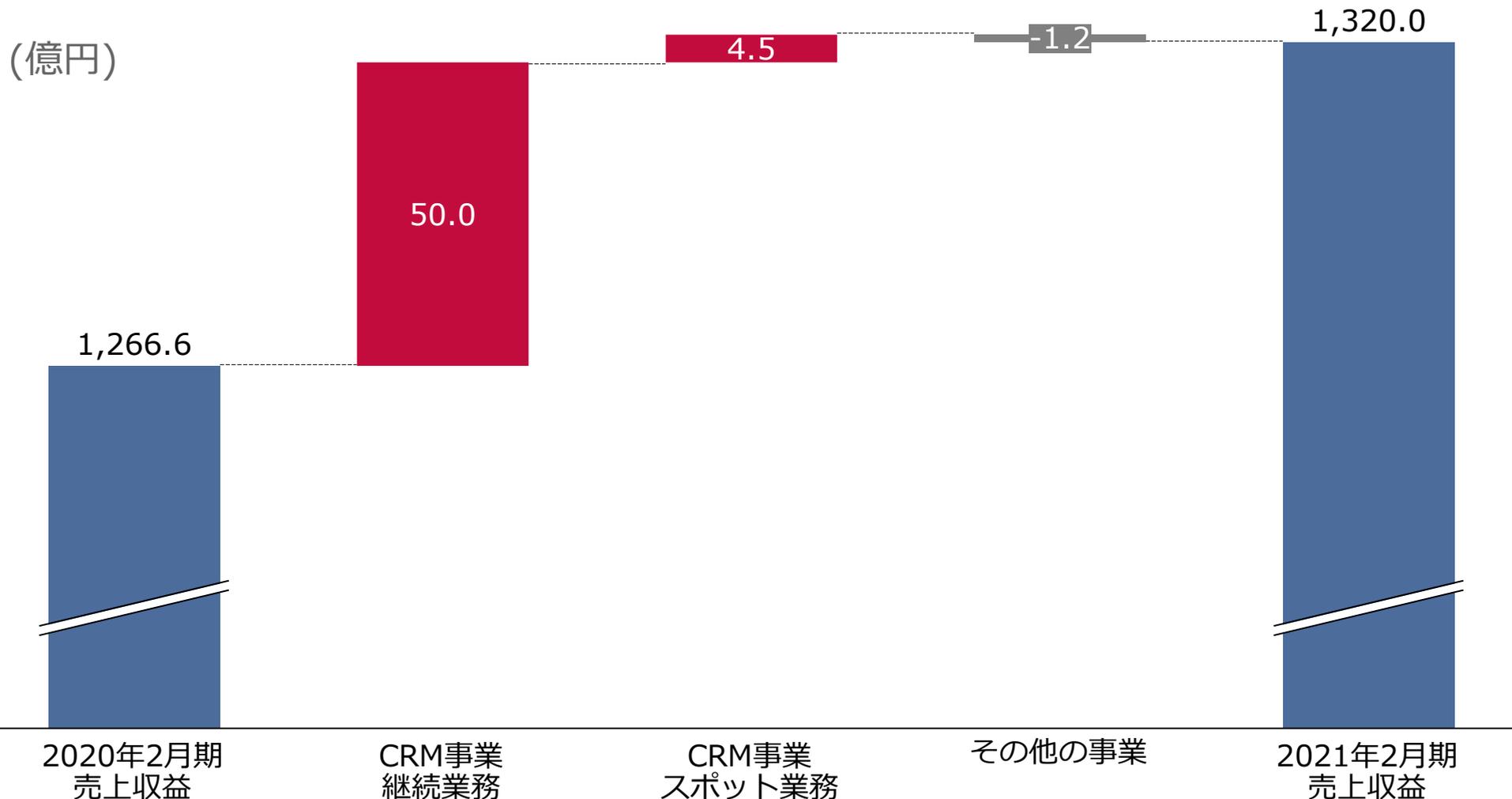
	2020年2月期	2021年2月期 (予想)	対前年 増減額	同左増減率
売上収益	126,663	132,000	+5,337	+4.2%
営業利益	11,105	11,500	+395	+3.6%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	7,006	7,200	+194	+2.8%

【配当政策の基本方針】

当社は、株主に対する利益還元を最重要課題の一つとして認識しており、剰余金の配当を安定かつ継続的に実施し、業績の進捗状況に応じて配当性向及び必要な内部留保の充実等を総合的に勘案した上で、中期的には親会社の所有者に帰属する当期利益をベースに、連結配当性向50%を目標として、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本的な方針としております。

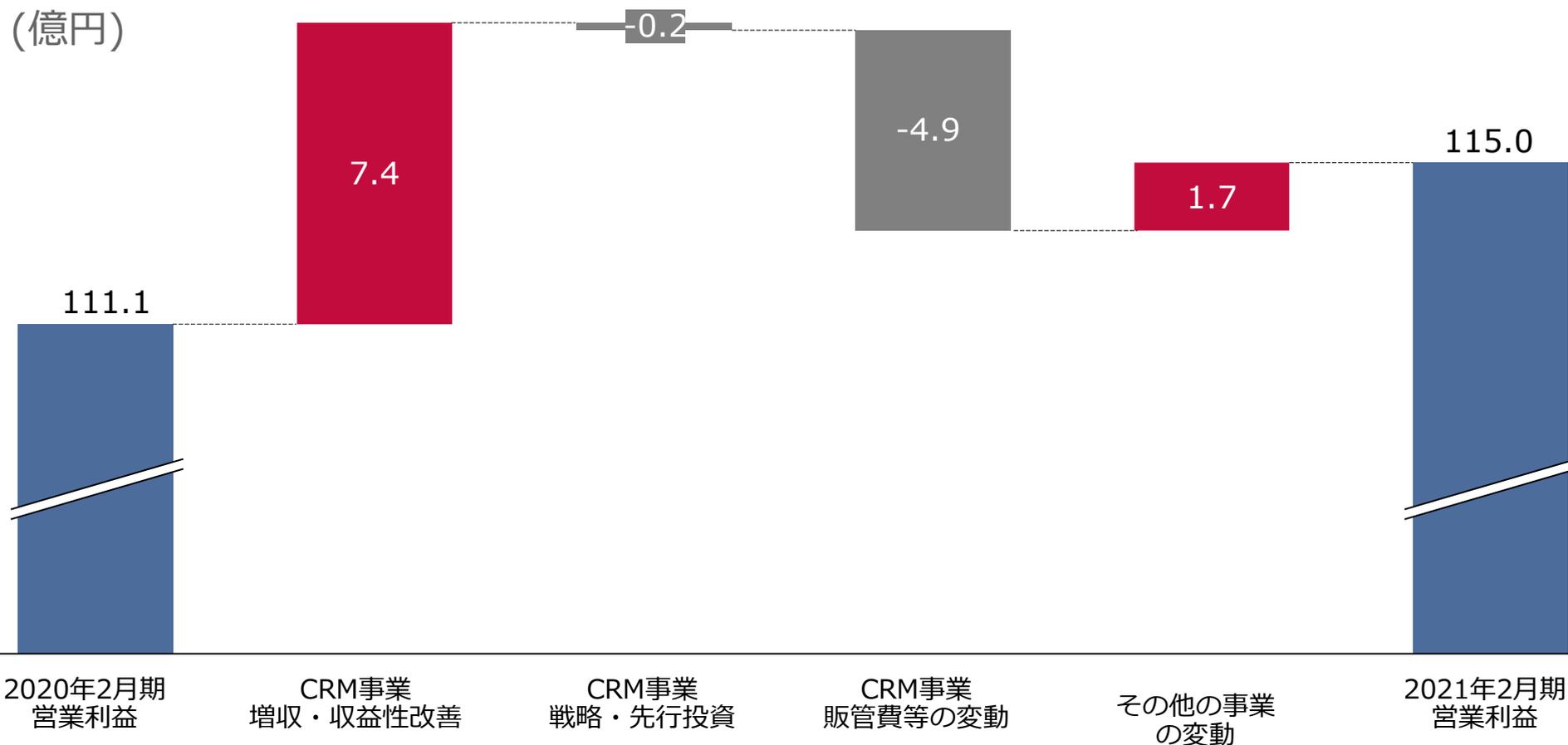
	1株当たり配当金（円）			配当性向（%）
	中間	期末	合計	
2021年2月期（予想）	21.00	21.00	42.00	42.9%
2020年2月期	21.00	21.00	42.00	44.1%
2019年2月期	18.00	18.00	36.00	49.1%

「スポット業務」の継続的な受注に加え、「継続業務」の伸びにより増収を見込む。その他の事業は、前期の医薬関連事業（一部）の売却により減収に。



新型コロナ対策費等の一時的要因があるも、増収効果等により、増益を見込む。

(億円)



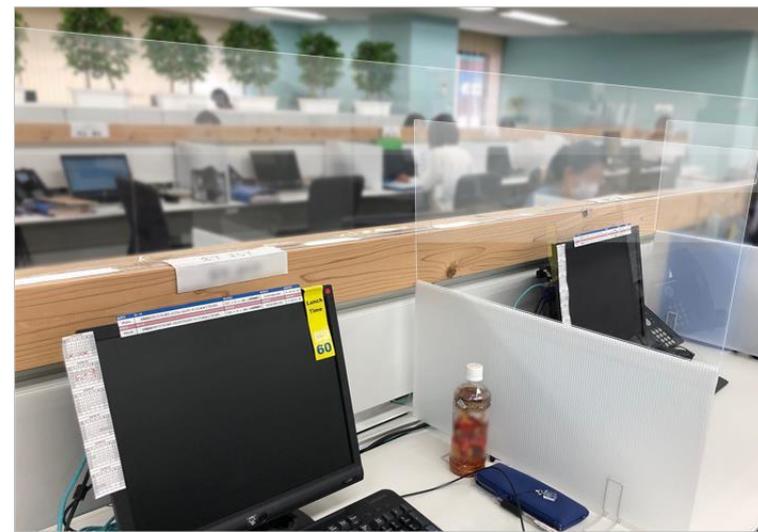
2021年2月期 第1四半期 トピックス

■ 新型コロナへの対応

■ 4月以降、従業員の安全確保および感染拡大防止を目的に、センター内でのソーシャルディスタンスを確保、クライアント企業との連携によりテレワークを拡大

■ 「飛沫感染防止のパーテーション (写真)」「マスク」「消毒液」の (3点セット) を、5月中に全センターに設置

■ 6月以降、共有スペース (休憩室、ロッカールーム等) の見直し等、感染拡大防止策を一層強化

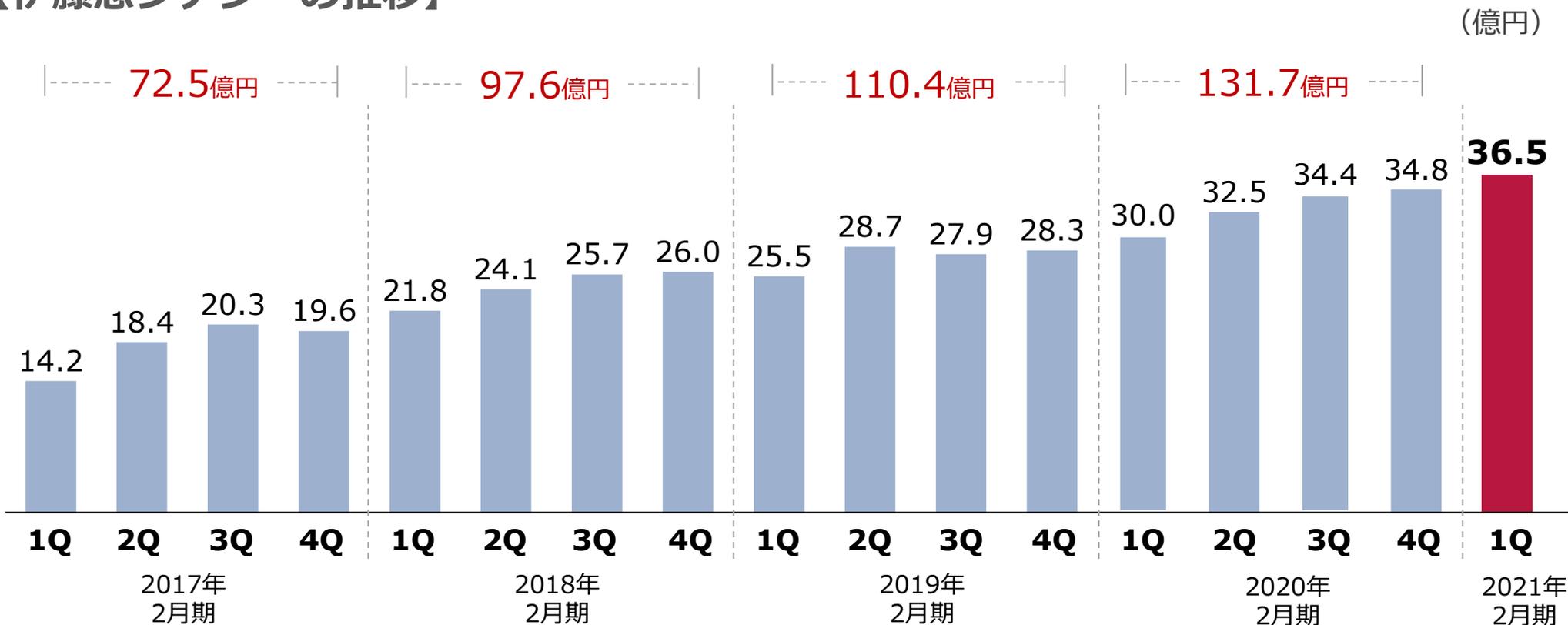


「飛沫感染防止パーテーション」を設置したブース

伊藤忠シナジーは前年同期比で+6.5億円、+21.7%増と堅調な推移。
 (スポット業務を含む)



【伊藤忠シナジーの推移】



凸版印刷とDX支援BPO新会社「TBネクストコミュニケーションズ」を設立

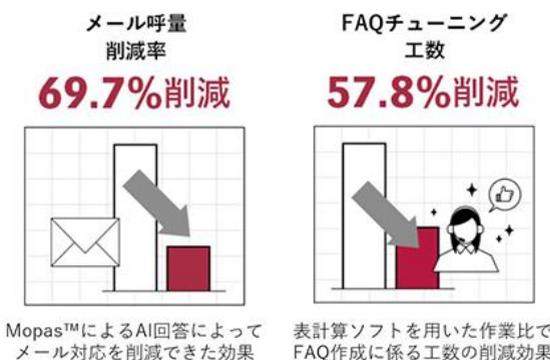
凸版印刷株式会社と連携し、両社のシナジー効果をさらに加速させ、最大化することを目的に、さまざまな企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進を支援するBPO領域に特化した合併の新会社「株式会社TBネクストコミュニケーションズ」を設立。（凸版印刷51%、当社49%）



TB Next Communications

ソニーコンピュータサイエンス研究所と、「イノベーション&コミュニケーションサイエンス研究所」を設立し、独自開発のAI技術による>Contactセンター運用に特化したサービスの提供を開始

株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所と連携し、「ヒト」と「新技術」を融合させた「次世代>Contactセンター」の創出を目的に「イノベーション&コミュニケーションサイエンス研究所」を設立。また、独自開発のAI検索エンジン「Mopas™(モーパス)」と、AIナレッジメンテナンス機能「Knowledge Creator™」により、eメールでの問い合わせ対応業務の効率化と削減につなげる>Contactセンター業務に特化した新たなAIサービスの提供を開始。



2月に業務提携を行った台湾のコンタクトセンター企業「宏華國際股份有限公司（ホンファ国際）*」と4月より事業を開始

***台湾最大手の総合通信会社「中華電信」子会社**

台湾支店を拠点に、通販企業をはじめとする日系企業や現地企業向けに、宏華國際のもつ中華電信グループのカスタマーサポート、情報通信サービスの知見を最大限活用し、台湾におけるコンタクトセンターアウトソーシング市場の開拓・拡大を目指し、ベトナム、タイに続き、海外3か国目での事業を開始。



オンラインMR支援のVeeva社と、医療従事者とMRの遠隔コミュニケーションを支援する新たなソリューションの開発を開始

新型コロナウイルス感染症の流行長期化を見据え、医療従事者に対して医薬品に関する情報提供を行うMRのオンライン化（リモートディテリング*）で数多くの実績を持つVeeva Japan社と協業、オンライン環境でのセキュアなMR活動を実現する新たなソリューションの開発に着手し、今夏を目途に提供を開始。

***リモートディテリングとは**

医薬品の適正使用を目的にMR（主に製薬会社に所属している医薬情報担当者）から医師など医療従事者に対して、医薬品についての情報提供を遠隔で行うこと。

コールセンター業界初「2020 J-Win ダイバーシティ・アワード」ベーシック 部門の最高賞「ベーシックアチーブメント ト大賞」を受賞

内閣府や厚生労働省などが後援する「2020 J-Winダイバーシティ・アワード」において、「ベーシック部門」の最高賞である「ベーシックアチーブメント大賞」を、コールセンター業界で初めて受賞。

当社が企業理念の中核にD&Iを位置づけて経営トップが強かに推進している点、全国約3万人超の多様なバックグラウンドを持つ社員の雇用形態（正社員・契約社員など）およびジェンダー多様性に合わせた人事制度の改革実行、継続的な女性管理職登用の仕組み作りなどが評価され大賞受賞。



我々の使命

イノベーションとコミュニケーションで
社会の豊かさを支える

我々の行動理念

我々は一人ひとりが常に新たな挑戦を続け、
楽しく、安心して働ける、人に優しい職場（コミュニティー）を作ります。

我々は企業としての社会的責任を果たし、
持続的で健全な成長を目指します。

我々が作り出した価値を社会に還元し、
美しい未来づくりに貢献します。

ご注意

本説明および参考資料の内容には、将来の当社業績に関する見通しが含まれていますが、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断にもとづくものであり、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、これら業績に関する見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。